

# 臼杵市 2020年度 施政方針と予算編成・施策

誰もが臼杵に住んで良かったと感じる「住み心地一番のまち」をめざして ～「持続可能な臼杵の創造」～

## ■ 施政方針

令和の新時代が到来し、本年1月には新臼杵市の誕生から15年を迎えました。人口減少が進み担い手の不足が懸念される中、令和2年度は3月に策定した「第2次臼杵市総合計画後期基本計画」「第2期臼杵市まち・ひと・しごと創生総合戦略」のもと、市民の皆さまとの協働による「チーム臼杵」の総力をもって、諸施策を推進していく大切な1年になると考えます。また、市長3期目の任期最後の1年でもあり、『住み心地一番のまち・臼杵』の実現に向け「安心して子どもを産み、子育てできる環境づくり」「健康寿命を延ばし高齢者が住み慣れた地域でいきいきと暮らせる環境づくり」「うすきの資源を活かした産業振興の促進」「移住定住の推進」の4つの施策を深掘りするとともに、「防災対策」にも注力し、より高みを目指した取組みを進めてまいります。

主な具体策としては、野津東部工場用地の造成や企業誘致の推進のほか、具体化した東九州自動車道の宮河内ICから佐伯IC間の4車線化の1年でも早い実現と、中九州自動車道と東九州道を繋ぐ広域道路構想の具体化に向け取り組みます。また、若者世代の市外流出を抑制できるよう、移住・定住施策を強化し「人口の社会増」実現を目指します。

これら施策を実現するため、自主財源として重要な位置づけとなった「ふるさと納税」の更なる充実を図る一方で、「臼杵市行財政活性化大綱」の適切な見直しを進め持続可能なまちづくりを進めてまいります。

## ■ 予算編成・7つの施策

令和2年度当初予算は第2次臼杵市総合計画に掲げた「日本の心が息づくまち」を基本とし、重要課題である人口減少問題の克服に向け「臼杵市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の重点プロジェクトに取り組むことで、「うすき創生」に繋げて行くための「7つの施策」を柱に予算編成を行いました。

1. 臼杵らしい産業振興充実のための取組
2. 安心安全な暮らしを守り支える取組
3. 住みたい、住み続けたい住環境づくりの取組
4. 安心して子どもを産み、育てやすい環境づくりの取組
5. 人生をたくましく切り開く心豊かな人材育成の取組
6. 健康寿命を延ばすための取組
7. 更なる行財政健全化と市民サービス向上の取組

これらの方針と諸施策に基づき予算編成を行った結果、令和2年度一般会計予算の歳入歳出総額は218億9,063万円となり、合併以降最大の予算規模となりました。

中心市街地の活性化の役割を担う野津市民交流センター（仮称）の整備や、健康・身体づくりの環境充実を図る諏訪山体育館の大規模改修など、前年と比較して3,838万4千円（0.2%）の増となりました。

令和2年度は、新たな「臼杵市総合計画」と「まち・ひと・しごと総合戦略」のもと、「持続可能な臼杵市の創造」を見据えるとともに、「住み心地一番のまちづくり」の総仕上げの1年にします。

# 2020年度の主な事業 (年度当初時点・新型コロナウイルス感染症対策等は含んでいません)

## 1. 白杵らしい産業振興充実のための取組（活力）

企業誘致の取組として、野津東部工場用地に進入路整備を行い（R2.8月末完了予定）、将来の企業誘致を見据えた準備を進めます。ふるさと納税については、令和元年度の寄附額が前年度実績を上回りました。返礼品の中で、夢堆肥を活用した「ほんまもん農産物」や有機JAS認定を受けた有機野菜がご好評をいただいていることから、引き続き農産物や白杵ブランドの特産品のPRを強化し、地域経済の活性化と産業振興の強化を図っていきます。

観光振興においては、観光振興戦略のもと「産業・文化観光地」を目指しハード・ソフト両面から充実を図ります。



- ・野津東部工場用地進入路整備事業・・・3,112万円
- ・ふるさと納税促進事業・・・1億7,500万円
- ・活力あふれる園芸産地整備事業・・・5,946万円
- ・漁業振興事業（漁港施設の環境整備）・・・838万円
- ・観光振興の充実（白杵石仏周辺環境整備、インバウンド対策の充実など）3,641万円
- ・白杵市・別府市共同観光事業・・・200万円

## 2. 安心安全な暮らしを守り支える取組（安心）

防災機能強化のため、老朽化した旧白杵商業高校体育館を解体し、地域内輸送拠点を整備します。また、災害に強い公共施設の整備として、白杵庁舎の排水設備の更新事業、事務機器の転倒防止対策を行います。

市指定避難所の機能強化として夜間に外灯が不足する避難所周辺に外灯設備を整備します。自然災害対策として、近年の台風などの影響で乙見ダムに大量に流入している土砂の除去作業に取り組みます。防災情報伝達の機能強化として、引き続き、防災行政無線更新事業に取り組みます。また、防災カメラのデジタル化への更新を行います。

市民生活の向上や産業振興のためのインフラ整備として、道路や橋りょうなどの整備に積極的に取り組みます。

- ・白杵庁舎等改修事業  
（旧商業高校体育館解体、排水設備更新など）  
・・・1,461万円
- ・指定避難所外灯設置事業・・・644万円
- ・乙見ダム浚渫事業・・・1,256万円
- ・防災行政無線更新事業・・・6,302万円
- ・道路新設改良事業  
（道路拡幅改良および橋りょうの点検）  
・・・8億185万円



乙見ダム

## 3. 住みたい、住み続けたい住環境づくりの取組（安心）

中心市街地の活性化として、野津市民交流センター（仮称）の整備を行い、地域の方々と共に地域の活性化を図ります。

地域コミュニティの充実として、下南コミュニティセンターの新設、川登地区振興協議会拠点施設の整備を行います。

移住・定住施策として、市外・県外から移住した方々への家賃補助や新築・改修に対する補助金、市内の方々への三世同居のための新築・改修に対する補助金、空き家活用事業補助金など、継続して実施していきます。今年度は新たに城下町エリアの地域加算、地元業者利用の加算を加え、事業の拡充を図ります。また、久保第3土地区画整理事業を行い宅地の増加を図ります。



※野津市民交流センター（仮称）イメージ図

- ・野津市民交流センター（仮称）整備事業  
・・・4億1,250万円
- ・コミュニティセンター整備事業  
・・・1億4,651万円
- ・定住促進事業補助金・新婚生活応援補助金  
・・・5,444万円
- ・空き家活用事業  
・・・2,680万円
- ・久保第3土地区画整理事業  
・・・7,156万円

## 4. 安心して子どもを産み、育てやすい環境づくりの取組（希望）

安心して出産できる環境づくりとして、妊産婦の医療費に係る自己負担分の助成制度、生まれてきた子どもの健やかな成長を願う出生祝い品として市内で利用できる商品券の贈呈を継続して行います。

保育料の負担軽減、中学生までの医療費の助成についても継続して実施し、保育・子育て環境の充実を図ります。また、出産直後の母子の心身のケアや育児サポートを産婦人科などで行う産後ケア事業に新たに取り組みます。

- ・ 妊産婦医療費助成事業  
(保険診療と調剤の自己負担分が対象) ・ 400万円
- ・ 子育て応援出生祝い品交付事業  
(商品券1万円分・おむつ1万円分) . . . 400万円
- ・ 保育・子育て環境の充実 . . . 6,782万円
- ・ 産後ケア事業 . . . 179万円



## 5. 人生をたくましく切り開く心豊かな人材育成の取組（希望）



基礎学力の定着・向上のため、ICT活用教育の拡充や、放課後チャレンジ教室の充実を図ります。英語力向上の取組として、小学校の英語専門講師の拡充や中学校3年生の英検3級取得を奨める助成を行います。

文化振興として、臼杵市民会館の大規模改修を行い利便性の向上と施設の長寿命化を図ります。

- ・ 小・中学校学力向上対策事業 . . . 1億2,178万円
- ・ 放課後チャレンジ教室事業  
(地域の人材を活用した学習習慣の定着) . . . 903万円
- ・ 市民会館改修事業(吊天井の改修など) 1億9,434万円

## 6. 健康寿命を延ばすための取組（安心）

「うすき石仏ねっと」の取組や、健診内容の充実による早期発見の取組、また、地域包括ケアの推進などにより、国保医療費・介護給付費の伸びが抑えられています。この状況を踏まえ、健康・身体づくりの環境の更なる充実を図るため、諏訪山体育館の大規模改修を行います。また、新たに小児生活習慣病予防事業に取り組み小児期からの健康増進を図ります。医療人材の確保対策として、コスモス病院と大分大学医学部附属病院および本市が連携した人材育成事業に引き続き支援を行います。

- ・ うすき石仏ねっとの充実強化 . . . 1,100万円
- ・ 諏訪山体育館改修事業 . . . 2億3,283万円
- ・ 健康診査・予防接種の充実  
(成人の風しん抗体検査の導入) . . . 1億900万円
- ・ 小児生活習慣病予防事業 . . . 62万円
- ・ 医療人材育成事業負担金  
(大分大学と連携した医師派遣) . . . 500万円



## 7. 更なる行財政健全化と市民サービス向上の取組（活力）

財源の更なる確保と財政の透明性をさらに高めるための取組として、歳入の根幹となる固定資産税において市所有の航空写真を更新し、賦課の正確性の向上を図ります。人口減少時代に対応した効率的な事務を推進するため、RPA（ロボットによる業務の自動化）など、ICT導入の検証などを行います。また、効率的・効率的に事務事業を行うため、事務事業におけるPDCAサイクルの機能向上をさらに進めることで、「持続可能なまちづくり」に取り組みます。公共施設の利活用のため、旧野津高校の管理棟・特別教室棟の解体を行い、今後の利活用を図ります。

- ・ 航空写真撮影委託 . . . 1,707万円
- ・ スマート自治体に向けたICT等活用事業(議事録作成システム導入など) . . . 741万円
- ・ 公共施設利活用事業(旧野津高校解体事業) . . . 500万円

# 当初予算 2020年度

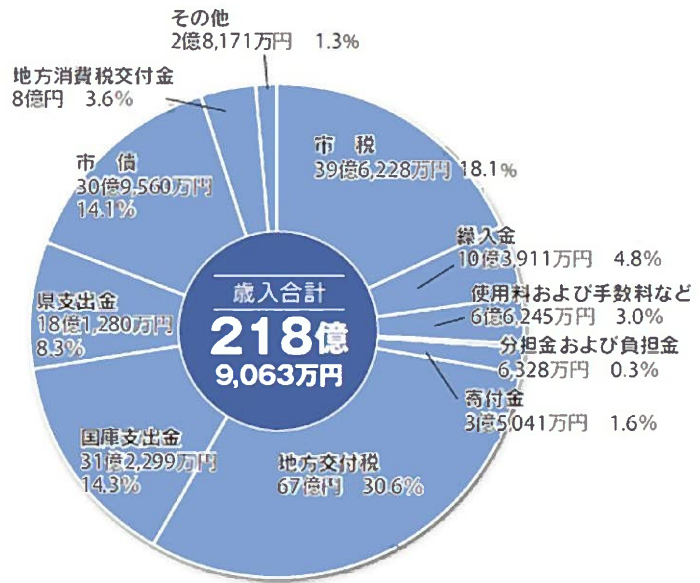
税は個人住民税、固定資産税において増加が見込まれることから、前年度対比0.8%の増加見込です。

国庫支出金については、子どものための教育・保育費負担金、ケーブルテレビ光化促進事業費補助金の増加などにより前年度対比12.1%の増加見込みです。

寄附金については近年のふるさと納税寄附金の増加により、前年度対比74.9%の増加見込です。

市債については、下南保育所整備事業や公共土木施設災害復旧事業の皆減などにより、前年度対比10.3%の減少見込です。今後も計画的な取組を行います。

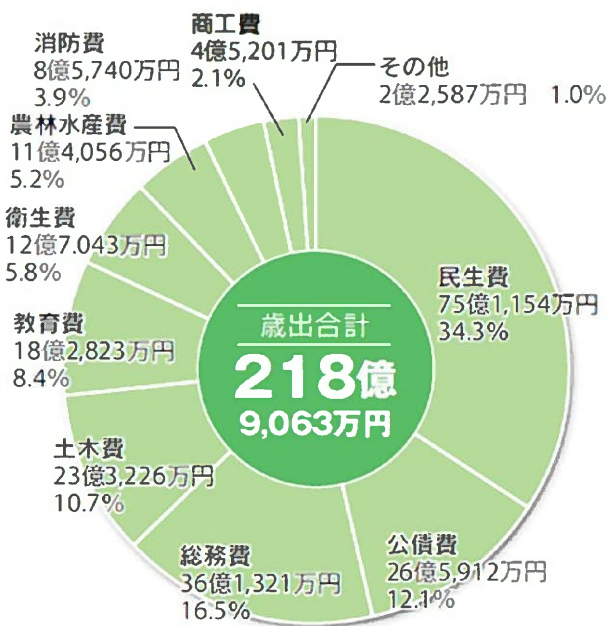
## 歳入



市民1人あたりが負担する額 **11万3,483円**

※令和2年3月1日現在、住民基本台帳人口 38,211人

## 歳出



市民1人あたりに使われるお金 **57万2,888円**

※令和2年3月1日現在、住民基本台帳人口 38,211人

白朽らしい産業振興充実のための取組として、企業誘致を見据えた準備のため、昨年に引き続き野津東部工場用地進入路の整備および水源の調査を行います。また、新たに森林環境譲与税を活用した未整備林の整備に取り組みます。

安心安全な暮らしを守り支える取組として、旧白朽商業高校体育館を解体し、地域内輸送拠点の整備に取り組みます。また、近年の台風などの影響で乙見ダムに流入した土砂の浚渫事業に取り組みます。

住みたい、住み続けたい住環境づくりの取組として、野津地域の中心市街地活性化と利便性の向上のため野津庁舎と併設した「野津市民交流センター(仮称)」を整備します。また、定住促進補助金に加算項目を追加します。

安心して子どもを産み、育てやすい環境づくりの取組として、出産直後の母子の心身のケアや育児サポートを産婦人科などで行う産後ケア事業に新たに取り組みます。また、不妊治療への助成や妊産婦医療費助成を継続して行います。

このような取組により、「住み心地一番のまち」をめざします。

## 令和2年度特別会計予算

水道事業会計	9億6,741万円	白朽石仏特別会計	4,947万円	
下水道事業会計	13億7,523万円	簡易水道事業特別会計※2	-	
下水道事業会計内訳※1	公共下水道事業	10億8,554万円	浄化槽整備推進事業特別会計	1,031万円
	特定環境保全公共下水道事業	1億5,058万円	国民健康保険特別会計	53億4,277万円
	農業集落排水事業	1億2,851万円	介護保険特別会計	45億3,173万円
	漁業集落排水事業	1,060万円	後期高齢者医療特別会計	6億1,100万円

※1:公共下水道事業・特定環境保全公共下水道事業・農業集落排水事業・漁業集落排水事業は、公営企業法一部適用となり、下水道事業会計(企業会計)となります。  
 ※2:簡易水道事業は、令和2年度より水道事業との統合により、特別会計は廃止となります。